

東大和市子ども・子育て支援会議 第3回議事録

会 議 名	平成27年度 第3回 東大和市子ども・子育て支援会議																						
開 催 日 時	平成28年3月24日(木) 14:30～																						
開 催 場 所	中央図書館 視聴覚室																						
委 員	(出席者)佐々木委員、網干委員、伊藤委員、水上委員、上田委員、坂本委員、片野委員、 神原委員、仲里委員、寺山委員、(欠席者)住吉委員																						
事 務 局	榎本(子ども生活部長)、高橋(子育て支援課長)、中村(青少年課長)、渡邊(保育課保育・幼稚園係長)																						
傍 聴 者	4名																						
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 特定教育・保育施設等の利用定員等について (2) 子ども・子育て支援に関する施策について (3) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度当初予算について ・パパスクールの結果について ・赤ちゃん・ふらっとについて ・子どもの貧困対策について ・保育施設及び学童保育所の申込み状況について ・年末保育について ・低所得の多子世帯・ひとり親世帯の保育料軽減について (4) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の予定について 4. 閉会 																						
配 付 資 料	<p>[事前配付]</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">資料1</td> <td>特定教育・保育施設の利用定員について</td> </tr> <tr> <td>資料2</td> <td>子ども・子育て支援に関する施策について(答申案)</td> </tr> <tr> <td>参考資料</td> <td>子育てハンドブック</td> </tr> <tr> <td>参考資料</td> <td>「パパスクール」チラシ</td> </tr> <tr> <td>参考資料</td> <td>「赤ちゃん・ふらっと」一覧</td> </tr> <tr> <td>参考資料</td> <td>「無料学習支援室」チラシ</td> </tr> <tr> <td>参考資料</td> <td>「南街こども食堂」チラシ</td> </tr> <tr> <td>参考資料</td> <td>「うまべえ子育て応援パック」チラシ</td> </tr> <tr> <td>参考資料</td> <td>「子育て応援アプリ 東大和スタイル」チラシ</td> </tr> <tr> <td>参考資料</td> <td>東大和市まち・ひと・しごと創生総合戦略</td> </tr> <tr> <td>参考資料</td> <td>すくすくジャパン！(平成27年10月改訂版)</td> </tr> </table>	資料1	特定教育・保育施設の利用定員について	資料2	子ども・子育て支援に関する施策について(答申案)	参考資料	子育てハンドブック	参考資料	「パパスクール」チラシ	参考資料	「赤ちゃん・ふらっと」一覧	参考資料	「無料学習支援室」チラシ	参考資料	「南街こども食堂」チラシ	参考資料	「うまべえ子育て応援パック」チラシ	参考資料	「子育て応援アプリ 東大和スタイル」チラシ	参考資料	東大和市まち・ひと・しごと創生総合戦略	参考資料	すくすくジャパン！(平成27年10月改訂版)
資料1	特定教育・保育施設の利用定員について																						
資料2	子ども・子育て支援に関する施策について(答申案)																						
参考資料	子育てハンドブック																						
参考資料	「パパスクール」チラシ																						
参考資料	「赤ちゃん・ふらっと」一覧																						
参考資料	「無料学習支援室」チラシ																						
参考資料	「南街こども食堂」チラシ																						
参考資料	「うまべえ子育て応援パック」チラシ																						
参考資料	「子育て応援アプリ 東大和スタイル」チラシ																						
参考資料	東大和市まち・ひと・しごと創生総合戦略																						
参考資料	すくすくジャパン！(平成27年10月改訂版)																						
会議の結果及び主要な発言																							
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 特定教育・保育施設等の利用定員等について 																						

事務局	<p>(資料1の説明)</p> <p>議題3の1、特定教育・保育施設等の利用定員等についてだが、今回お示した5施設の利用定員の変更になる。1つ目は「こども学園」。利用定員の変更で、1号の定員を約60人減らして、2号の定員を増やす。2つ目が「れんげ保育園」。こちらは利用定員の減で、1歳児を5人減、2歳児を10人減、合計で15名の定員減となる。理由としては昨今の保育士不足、そういった関係で保育の質を維持するために定員を減らす。3つ目が「誠愛保育園」。こちらも理由は同じで、保育士不足のため1歳児を3人減、3歳児を5人減の計8人の定員減。4つ目が「谷里保育園」。こちらは定員増、2歳児を4人増、3歳児を1人減、4歳児を4人増、合計すると7人の定員増になる。定員変更の理由だが、平成27年度に増築した関係もあって、昨年度は151名の定員を167人に変更したが、より実態に即した定員変更するという事で28年度は7人増と定員を変更する。最後に「東大和早樹保育園」。こちらは前回の会議の説明後に、定員設定を少し変えるというお話があり、前回、ゼロ、1、2歳、4歳ずつの定員にしていたが、こちらを3、4、5、ゼロ歳児3人、1歳児4人、2歳児5人、こういった形に内訳を変更したいという話があったので意見を伺うものである。</p> <p>説明いただいたありがとうございます。</p> <p>議事の1だが、利用定員の変更についてはいかがか。ご意見あれば、よろしいか。</p>
	<p>4. 子ども・子育て支援に関する施策について</p>
会長	<p>(資料2の説明)</p> <p>それでは議題1についてはご承認いただき、2番目の「子ども・子育て支援に関する施策について」で、これは今日の多分メインになると思うが、これもまず事務局のほうから。</p>
事務局	<p>前回の会議で、幼児教育の充実を盛り込んだほうが良いというご意見があったので「長期的視野にたった取り組み」を追加した。あとは答申なので、1ページ目の「はじめに」を追加した。本日、改めて皆様にご審議していただいて、了承ということであれば、市長へ会長から答申するが、また新たにここは直したほうが良いとか、こういったテーマについても盛り込んだほうが良いとか、そういったご意見があれば、追加する。</p> <p>また、皆さんの任期が今年の7月末になるので、本日の会議の後にもう一回は開催可能なので、本日まとまらなければもう一回、7月ぐらいに開催できればと考えている。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>我々の任期が本年の7月末なので、それまでにきちっとした形で市長に対する答申を行いたいので、何かこの内容についてご意見あれば。前回の会議で出た幼児教育の部分も盛り込んで、まだこれが最終ではないが、これについてのご意見を伺う。</p>
委員	<p>幼児教育の充実について、幼児教育の意味というのをもう少し入れていただきたい。幼児教育は、学力向上につながるのももちろんだが、一番大事なのが「自立をする」「自分で立つ」「自分で律する」で、今、子どもに必要なことだと私たちは考えている。子どもたちが自分で考えて行動ができるようになる。周りの様子を見て自分の行動を考えてみる。友達と遊ぶ中で、友達のよさを知り、そこでコミュニケーションをとっていける。自分で発言をする。今、そういうことを幼児教育では大事にしている。そういうことによって、引きこもりとか、いじめにつながる部分が解消できたり、自分の気持ちを表現するところを充実させている、そういうことが小学校教育へつながっていく。そういう教育を働いている人でも受けられるように幼稚園も考えて、預かり保育を充実させているので、そこを内容に入れて、働いている、働いていないにか</p>

<p>会長</p>	<p>かわらず、お母さん方が教育を受けさせられるということも含めて充実させていく。預かり保育や教育への支援をしていただけるという部分で、内容を考えていただけると助かる。</p> <p>ありがとう。</p> <p>他にはいかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>「長期的な視野」をここまでまとめていただいてありがとうございます。支援会議で気になっていることは、1つの園だけがとても特出していい園になってもらっても困ると思う。それよりも子どもを取り巻く環境、保育環境というのはみんなに平等に差別なく、いい環境を整えていただきたいと思っている。それには幼児教育もとても大切だが、そこで働く保育者であり、それから理事長であり、園長であり、そういう人たちの資質を高めていくというのが非常に大切と思うので、ここにぜひ、そういう施設者を含めた保育者、保育に携わる者、幼児教育に携わる者、皆の資質を上げていくというのを入れていただきたいと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとう。</p> <p>では、今のところ提起は2点。1つはこの幼児教育の充実。単なる学力の向上に資するだけではなくて、そもそも子どもの人格形成の一番の礎になる幼児期の教育の重要性をもっとしっかりうたうということだと思うが、この点はいかがか。</p> <p>幼稚園だけではなくて、保育園でもうちの法人がやっている園は、幼児期からきちんと子どもさんの自己選択、自己決定をちゃんとできるような環境をつくるような、そういう教育方法も取り入れたりしているから、今や保育とか幼稚園とか分けるのではなくて、もちろん行政上の区別はあるが、我々が一丸となってこの幼児教育をきちっと担っていくんだという姿勢を明確に出すのがよろしいかと思う。</p> <p>ただお預かりしているだけで、安全であればいいだけではなくて、基本的な成長とその教育の担保をきちっとしていかないといけないというのが盛り込んでいければと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>つけ加えだが、同じく幼児教育はとても大事だと思うが、学力だけでなくて体のほう、体力が今すごく落ちてきているということで、その文面も少し入れていただけると、やはり体が基本なので、それが学力、学力とばかりなっていくと困っていく部分もあるので、体力と両方で一緒にしていただければと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとう。学力、体力だけではなくて情緒も含めて、全人格形成の本当に礎だから、ここにもう少しポイントを当てた表記にしてもらえると。</p> <p>では事務局でこの2点の内容。単に学力向上、目先の全国でも成績が云々だけでなく、心身ともに健康な発達をきちっと保全していくという、その観点でそれを担保する立場にいる側の、教育する側、保育する側の質の向上にも努めていくという。それに対して市の側も、いわゆる行政としてできる限りのサポートをしていく姿勢を明確に、この「幼児教育の充実」のところで入れ込んでくれるとよろしいかと。</p> <p>あとはご提案いただいた人たちの意見も交えながら、事務局でもう少し検討していただくということでよろしいか。</p> <p>ではお配りした案、答申案の施策についての議事は以上で承認ということで進めさせていただきますが、3番の報告事項、こちらについてそれぞれご担当の事務局のほうから。</p>
<p>子ども生活部長</p>	<p>5. 平成 28 年度当初予算について</p> <p>皆さん、こんにちは。子ども生活部の榎本である。</p> <p>当市にとって非常にうれしいニュースが飛び込んできた。11 月末に日経 DUAL の独自調</p>

査によると都内で共稼ぎ世帯が働きやすいまちということで、本市が都内5位にランキングされた。日経の独自の調査項目によって、本市に問い合わせすることなくつくったものであるが、ポイントが高かったのは、保育施設等の枠の確保と、あと昨年神原委員のところから始めていただいた保育中のお子さんのお迎えサービス、それもタクシーを使ったり、都内でも本市を含めて3つしかまだやっていないので、その辺のポイントが非常に高かった。まだまだ上はあるが、今度いつランキングされるかわからないが上を目指してやっていきたい。

早速だが、先週第1回目の市議会が終わり平成28年度の当初予算が可決された。当初予算全体では535億円で前年に比べて5%ぐらい増えた。その中で、市長が重要施策5つを上げている。子育て支援施策、教育、健康、環境、公共施設の施設整備で、その中でイの1番で子育て施策の充実という当部が担当している事業が挙げられた。

予算を見ても、子ども生活部だけで約73億円あり、その中の96%に当たる70億弱が子ども生活部で使っている子育て施策に投入をしている。

主立ったところは、今年新規で保育課に保育コンシェルジュ、保育並びに子どもに関する相談事業で、再任用職員だが、保健師、助産師、看護師の資格を持っており1人でこれ以上資格を持っている人はいないのではないかとという職員で、さらに臨床の経験もあり、精神保健福祉士、それと児童福祉司も持っているので、本当に子どもに関することから福祉に関すること、保健医療に関することも非常に幅広い知識を持った者を4月から充てる予定。実際には本稼働するのに少し時間かかるかと思うが、一応配置はされる。

市内の保育園だが、今年度から通常年末は29日から1月3日まで保育施設はお休みだが、29、30日だけ年末保育を始めたが、来年度はさらに休日保育の実施で、日曜祭日、そちらも開けるといところで約600万ぐらい予算計上した。

受け入れ保育等の施設の拡充で、定員枠がかなり多くなったが、弾力的運用で、面積、保育士等の数が潤沢にある場合は、定員の2割ぐらいアップして受け入れが可能だが、今、保育士がなかなか確保できないので、それに対する予算もつけた。

保育士離れ、離職者防止という観点から、保育士のための宿舎を借りるための補助金もつけた。保育施設から、先ほどの小規模保育、保育ママ等々あるが、キャリアアップ補助ということで処遇改善に充てていただく予算をそれぞれつけた。

昨年4月からこども学園が認定こども園に移行したので約9,000万円つけている。大和富士幼稚園が今度4月から認定こども園に移行するが、そちらが約2億円。昨年の年度途中から始めた明神の送迎サービスに800万強。公立保育園のプールの更新。従前からやっている給食食材の安全検査の予算は継続して計上した。

それから「赤ちゃん・ふらっと」、今は市内公共施設等13カ所あるが、やっと来年度に市役所の本庁舎に整備をする。1階の今売店がある場所か、食堂の隣、あそこに設置をする予定。あわせて、中央図書館にも既にあるがトイレの改修もする。

それから学童保育所。延長保育として、4月からどこの学童クラブでも夜7時まで1時間延長する。こちら指導員不足で、本来であれば定員超過で受け入れしたいがぎりぎり、また追加募集をするような状況だ。やはり学童の指導員も保育士さんとか、教員の免許持っている方等なので、なかなかお集まりいただけないようだ。それから学童にも行っていない放課後子ども教室、こちらのほうも充実するというので日数の増加等も行う。

他の部でいうと妊産婦の相談支援、育児パッケージの配布、お祝いに今治のタオル、うまべえが刺しゅうされていて、お子さんのお名前を刺しゅうして入れたものを贈呈するサービスも

始めた。学校教育では、今まで就学前の児童で小学校に上がる前の相談等、発達に問題があるとか、少しつまづきがあるようなお子さんたちを見ていく事業をやっていたが、さらに充実が求められており、巡回相談を厚くするところで、各保育園とかに今まで以上に回って、早い相談につなげることを目指す。学校では学習支援員、ティームティーチャー、協力員を全校に配置することで、小学校1年生でなかなかうまくいかないところに指導員をつけたりするために、2,500万ぐらい予算をつけたりしている。さらに理数科が弱いところで、特別プログラムを組むとか、いろいろとメニューを組んでいる。放課後等の補習教室も予算をつけて、通常の授業だけでは追いつけない方に、放課後もやるという予算立てをしている。

市長の施策の中で日本一子育てしやすいまちづくりを目指しているが、今、子育て支援の施策の担当だけではなくて、多くの施策と一体的に取り組まなければ進まないのではないかと市長も平成28年度の市政を行う演説の中でおっしゃっていた。

以上、来年度の主な当部に関係あるような予算についてご報告した。

榎本部長、ありがとう。

28年度の市の政策に関して、我々のこの委員会に関連するところで部長のほうからご説明があった。この点などに関して皆さんのほうからご質問とかご意見いかがか。

今の話で充実してきている部分は本当にありがたいと思っているが、どうして幼稚園が外されてしまうのかなというのが私の印象。保育士不足というのは幼稚園も同じ、幼稚園教諭と保育士の両方の免許を持っている人が同じなので同じ状態だ。でも、いつもつけられるのは保育士のものだけ。先ほどの巡回相談のこともそうだが、巡回は幼稚園には定期的には来ていただけない。そういう状態で、いつも「保育園に」という話になってしまう。同じ幼児を見ていくところで同じようにしていただけるとありがたいと思う。

6. 低所得の多子世帯・ひとり親世帯の保育料軽減について

まず、多子世帯の保育料の軽減、幼稚園の就園奨励費の補助金だが、現在は保育園や認定こども園、新制度に移行した幼稚園については、保育料の軽減をしている。第1子は変わらないが第2子が半額、第3子が無償となっている。幼稚園の私学助成を受ける幼稚園については、保護者に幼稚園就園奨励費補助金という形で出しており、第2子は第1子より増額しており、第3子は第2子よりも増額している。

第2子、第3子の判定だが、幼稚園は小学校3年生までの兄や姉がいる場合は、一番年長者を第1子と数える。保育園は、小学校就学前までの兄、姉の中から一番年長者を第1子と数える。それがこの度、4月の保育料、幼稚園の補助金については28年度から制度改正がある。対象は年収約360万円未満相当の世帯で、それを超えるような方はこれまで通りだが、いわゆる低所得世帯の方についてさせていただく。

多子世帯に係る第2子、第3子の判定方法は年齢制限を撤廃する。これまで幼稚園の場合は小学校3年生、保育園は就学前までということで、兄、姉を第1子と数えていたが、その年齢が撤廃される。そちらが多子世帯の軽減率や補助金の増額の話になる。

続いてひとり親世帯等の保育料軽減、幼稚園就園奨励費の補助金の話だが、こちらも同じく年収が約360万円未満の世帯の方を対象にする。まず、保育園は第1子の保育料を半額、第2子以降の保育料を無償化する。続いて幼稚園の方。いわゆる新制度に移行した幼稚園は保育料。以前からある制度の幼稚園の在園児は、個人に対する補助金になる。

こちらも階層によって変わるが、市民税非課税の世帯は第1子でも第2子でも第3子でも保

会長

委員

事務局

	<p>育料が無償化される。補助金額でいくと、満額の30万8,000円で予定をしている。それよりも1つ上の階層、市民税非課税世帯を除く年収360万円未満の世帯は、第1子の保育料を半額、第2子以降の保育料は無償化になる。個人の補助金については21万7,000円で、現在と比べると10万1,800円の増額。第2子以降については、こちら満額の30万8,000円で、現行と比べて9万7,000円の増額で予定している。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとう。</p> <p>今説明されたことに関して、あるいは先ほどの28年度の施策に関して何か皆さんのほうからご質問とかご意見があればいかがか。</p>
	<p>私から1つだけ。保育コンシェルジュ、市がこれを取り入れたことは大変結構だと思う。というのは行政というのは縦割りになりがちだから、何々の相談をするときにはこっち行って、こっちの相談するときはあっち行ってというふうに、言葉は悪いがたらい回しされたりするところを、子育ての特に幼児期に関して、要するに一本化されることでその方が市内における社会的資源であるとか制度を上手に活用して、あなたのこういう悩みだったら、こちらのこういうことは適用できるとか、そういう相談に預かれる窓口を一本化するということは、市民の側に立って、あるいは利用者・使用者の側に立って、便利な制度をここでやっとなしこむ。市政がこの件に関してはそういう方向にかじ取りをしたということに関しては大変高く評価したいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>28年度から様々、保育コンシェルジュだったり、いろんな新しく施策が変わっていくと思うが、その点を周知していただくことが大事に感じる。せっかく素晴らしい制度ができて、それを知らないまま過ごしてしまうお母さんたちも結構いると思う。ちゃんと市報には載ると思うが、若いお母さんとか新聞をとっていない人はそういう記事を見る機会がなくて、そのまま知らないで悩みながら過ごしてしまう方も結構いると思う。</p>
<p>会長</p>	<p>いいご意見だと思う。どんないい制度をつくってもそれが利用者に伝わらなかつたら意味が無いところで、ぜひその辺は徹底していただけると。</p> <p>若い世代はインターネットを使うから、市のホームページとかそういうのを含めて、PRもしていただけるといいのかな。</p>
<p>事務局</p>	<p>お話が出たので、ピンクのチラシで「子育て応援アプリ」というのが、この15日から稼働して配信を始めた。これは子育て支援と観光をあわせPRしていくというアプリになっているので、ぜひダウンロードしていただければと思う。</p> <p>その中で、お子さんのお名前や生年月日を入れていただくと該当する、例えば予防接種があるとか、こんな施設があるとか、事業が今やっているとかという配信ができるようになってるので、ぜひご活用いただければと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとう。</p> <p>ほかにはいかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>今の寺山さんの意見にちょっとプラスだが、このピンクの紙、例えば市報とかどこかに配布するとか、そういう形だとやはり見落とししたり、時間がなくて読めないお母さんはたくさんいると思う。なので、例えば新生児訪問の時、保健師さんに託して、そこで伝えてもらうとか、あとは保健センターで健診がある時に渡すとか、何かそういう形のほうが、安易に広告を市報に挟んでばらまくよりもよっぽど伝わっていくのではないかと思う。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>他にはいかがか。</p> <p>このうまべえの子育て応援パックも、出産・子育ての応援事業で、母子手帳をもらいに来た時にPRをしていただけると思う。今は若いお嬢さんが妊娠してしまって、お母さんいなくて、</p>

	<p>じゃあ、どうしようというような、そんなようなお子さんもかかわっているの、母子手帳の申請に来た時にいろんな情報をあげられることも大事だとすごく思う。</p>
事務局	<p>7. 保育施設及び学童保育所の申込み状況について</p> <p>まず保育園の申し込みは、4月の全申込者だが、全部で504名である。昨年度494名だったので10名の増、2.2%の増になっている。</p> <p>入園の決定者だが、実際に決定された方は419名。昨年が411名なので8名の増。</p>
事務局	<p>8. 年末保育について</p> <p>続いて、年末保育。通常は年末は保育園は閉園している状況だが、昨年12月29日と30日の2日間、玉川上水保育園で実施した。受け入れ状況だが、29日は13名、翌30日は6名の利用があった。玉川上水保育園の在園児だけではなく、市内の他の保育施設、認定こども園、保育ママさんで利用されているお子さんもあわせて利用することができ、実際に何名かは玉川上水保育園以外に在園するお子さんが利用された状況だった。</p>
会長	<p>他にはよろしいか。</p>
事務局	<p>学童保育所の28年度の申請状況について。</p> <p>本年度は961名の方がお申し込みがあった。入所人数は748名。今現在213名の方が待機になっているが、全ての方が児童館及び学校の施設等のランドセル来館で受け入れ態勢をとれる形になっている。</p> <p>今回は昨年に比べて3児童館が増えて、全ての児童館でランドセル来館事業を行う形になった。昨年に比べて91名増えているので学童を増員したが、先ほどの保育園と同じように指導員の数とか足りず賄い切れないところもあるが、今後も夜7時まで延長保育を行うので、その分も十分人員配置充実させていきたいと考えている。</p> <p>あと、延長の申し込みだが、約1割の80名弱でお申し込みいただいている。</p>
事務局	<p>9. パパスクールの結果について</p> <p>今回、国の地方創生交付金を活用して、NPO法人ファザリング・ジャパンが各地で開催をしている父親向けの子育て講座「パパスクール」を当市で開催した。</p> <p>まず第1回目のファザリング・ジャパン代表の安藤哲也氏は年間200回ぐらい各地で公演をされている忙しい方だが、予約がとれて当市に来ていただいた。基調講演で父親が変われば地域が変わるという熱い講演をしていただいた。</p> <p>第2回目以降は、バルーンアートをつくったり、産後ケア、ご夫婦のパートナーシップ、男の時間短縮家事について講座を行い、最後はイベントとして絵本歌、遊び歌ということでライブを開催させていただいた。</p> <p>場所はお子さんが集まる場所としてハミングホールを使って開催をさせていただいた。</p> <p>どの講座にも多くの父親にご参加をいただいて、子育ての仕方だけでなくご夫婦でどのように子育てをしていくかや、夫婦間での役割分担、あと意思疎通の大切さを学んでいただいた。全6回の講座で延べ138人の親子が参加して、4回以上出席をされた父親6人に卒業証書として修了証をお渡しすることができた。</p> <p>講座後のアンケート調査で、参加していただいた父親は、日ごろから子育てに関心があった、子育てが楽しいと感じている方がほとんどだった。</p>

<p>会長</p>	<p>今回参加していただいた方はこれから育児に参加することによって、子どもを通して地域でつながりを持っていただければというふうに考えている。</p> <p>一方で、お仕事が忙しかったり子育てに余り関心のない父親にどのように周知していくかということが今後の課題になると認識をした。</p> <p>今後だが、東京都で作成をしている父親ハンドブックの活用や両親学級での情報提供、今月から配信を開始した子育てアプリなども周知をして、子育てへの関心を高めていただければと考えている。</p> <p>それから、お子さんの面倒を見るだけではなくて、奥様とのコミュニケーションも大切なことだということで先生からのお話があった。</p> <p>来年度以降のパパスクールについては、継続予定は無いがほかでやっている子育て講座とかに父親対象の講座を検討していきたいというふうに考えているところだ。</p> <p>ありがとう。</p>
<p>事務局</p>	<p>10. 「赤ちゃん・ふらっと」について</p> <p>こちらは東京都が整備費の補助をする事業で、乳幼児を連れた親御さんが安心して外出を楽しむためにおむつ替や授乳が行えるスペース整備して子育て支援を推進している。</p> <p>この認証を受けたところには、ピンクの20センチぐらいの大きな丸い「赤ちゃん・ふらっと」という照合証が交付されており、入り口などに張っている。</p> <p>平成27年度は中央公民館と中央図書館を整備し、公共施設はこれで9施設、民間の施設が4施設で13施設になっている。内訳は下の表を見ていただければと思う。</p> <p>ここで、広報で「赤ちゃん・ふらっと」をやっていただけるところを募集したが、民間施設で1個、声をかけてもらえたので、今度見て適合できるのかどうかを判断して、東京都に申請をしていきたいと考えている。</p>
<p>事務局</p>	<p>11. 子どもの貧困対策について</p> <p>現在、市では「日本一子育てしやすいまち 東大和市」を目指して行政運営を行っている。今般、国から1億総活躍社会の実現に向けて新3本の矢が示され、第2の矢として「夢をつむぐ子育て支援」が掲げられている。その中では、希望出生率1.8を目指して切れ目のない支援、待機児童ゼロ、ひとり親家庭への支援などがうたわれている。これを受けて、児童扶養手当の増額や、子どもの居場所づくりとしての学習支援や、食事の提供などが検討されている。これはひとり親世帯の自立支援や、子どもの貧困対策として親の貧困が子どもへの連鎖を断ち切るための施策である。</p> <p>現在、市民団体の南親会が、南街地区で「こども食堂」を開設し、また、東大和市レクリエーション協会がひとり親家庭の児童を対象に無料の学習塾で「賢治の家」を開催している。</p> <p>市も何らかの支援ができるように、国や東京都の動向を注視し、今後、若者の居場所づくりとあわせて子どもの貧困対策計画を検討していきたいと考えている。</p> <p>南街の「こども食堂」は去年の9月から始まり、月に2回。協和三自治会の集会所を利用して、1食当たり300円で食事ができる。最初3人で始まったが、最近では時間をずらしながら30人ぐらいの方が利用されている。社会福祉協議会でも補助について拡充を図っていく予定である。</p> <p>無料学習塾だが、向原市民センターと清原市民センターを市で借りて、場所の提供をして</p>

	<p>実施をしている。小学生は全教科を、中学生は英語と数学を教えていただける。</p> <p>先日の都立の受験で8人の方が見事合格されたという結果を伺っている。来年度についてもまた市民センターなど場所を借りて、提供をしていきたいと考えている。ちなみに明日、今年度の閉講式が夜あるので見てきたいと考えている。</p>
会長	<p>ありがとう。</p>
委員	<p>では、これまでの報告全般についてご質問とかご意見があれば。</p> <p>答申の中の5番目「今ある事業の見直し」という項目がある。この中の①の保健センターでの健診時のサポートを手厚くとあるが、私は民生・児童委員をやらせていただいて、支援は一生懸命しているが、それで人数が足りるのかどうかということがあがるが、民生委員などの協力員という方が別に2名いて、その方がメインで毎月、応援で着替えとか体重測定の関係で応援している。それプラス部会から1～2人が応援に出て、ボランティア活動しているが、人数的にどんなものかなと思ひ質問だが。</p>
委員	<p>では受けている側から。今、上の子が6歳、それから真ん中が4歳、下が2歳になり、年々よくなってきていて確かに初めのころはここに書かれているようなことがあった。毎回出ているわけではないが、3人もいと保健センター行くことが非常に多いので、かなり融通をきかせていただいたりとか、手厚く見ていただいている、毎回ごとによくなっているなというのは感じてはいる。</p>
会長	<p>ありがとう。</p>
委員	<p>ほかにはいかがか。</p> <p>私は3、4カ月健診の時のブックスタートのお手伝いで、図書館に行っているが、やはり健診が終わるまでは本当に脱いだり着たりというその辺はとでも皆さん大変そうに見える。</p> <p>ただ、センターも健診の時にはとでも人を増やしている。だから、段々その辺はよくなるかと思ひ。</p> <p>それで、そのブックスタートの時に絵本が2冊、かわいい袋に入れられて、ハンドブックみたいなものと一緒に渡すが、実は2人目、3人目という方の時に「この前と同じ本です」というのがすごく多い。いい本を届けたいという図書館職員のサポートをもらってやっているが、予算的に選べる本が決まってしまう。何年かで繰り返しているので、例えばその辺の内容的なものの検討を健康課で、例えば2冊はあげなくてもいいので何種類かキープしておいて、その中で1冊選んで持っていつてもらえるようにするとか、何かそういう方法が検討できていいのかなと感じる。「もう持っています」という方もいらしたりするので、やはり同じ本2冊は余りうれしくないのか健康課との調整で図書館職員からいい知恵を借りながら動かしていただけたらいい。</p> <p>私も子どもの読書計画の委員をやっているので、今の意見を話させていただきたいと思う。ぜひお願いしたい。もう4～5年前から言っている。</p> <p>お伝えする。</p>
委員	<p>この「保健センターでの健診時のサポートを手厚く」という部分は、私が3人子育てしていく中で、多くのお母さん友達とかの話を聞いた中でこういった支援会議に出席させていただいて、お話をさせていただく機会があったのでこのように載せさせていただいた。</p>
委員	<p>確かに、毎回ではなくてたまたまその時感じたお母さんとか、そういうのもあると思ひ、実際その健診の時はすごい人数の子どもが集まって、係の人もいっぱいいる。どうしても時間が</p>

	<p>かかるのは仕方がないことだと思うが、もう少し何かスムーズにというか、こういった健診時の時に待たされたり、ちょっと子どもに裸にバスタオルを羽織れと言っても羽織る年齢じゃなくて、もうすっぽんぽんでこういうような感じとか、何とかならないのかねって、じゃあ、他はどうだったのと聞くと、やはり声かけがすごくある地域もあって、何かエスカレーターではないが、「じゃ、身長測りましょうね」と、絶えずそこにいるスタッフが声をかけて「じゃ、じゃ、じゃ」って流れていって、時間は長いかもしれないが、スムーズに健診が終わってすごくよかったと話しているお母さんも中にはいた。</p>
委員	<p>なので、一つ一つ改善していくとか、スタッフが東大和市も一生懸命なさっているのは人数を見ていてすごく感じるが、時間の予約制とか何かないかな。もう、どっと集まって、わってやっているのでそこをご相談したかったのでこのようなものを書いた。</p> <p>私もちょうど年末に息子の3歳児健診があって実体験をしたが、やはり最初の待ち時間がすごく長かったので、息子もそこでぐずってしまって、本読んでいる途中で呼ばれてしまったので、それを置いていったらもうその時点でだめになって、その後はもうギョギョだった。もう服も脱げない、4～5人がかりで足押さえ、腕押さえて身長測ったりとか、結構大変で。最後も結構暴れてしまってその状況をちょっと見て「じゃあ、発達相談受けますか」「相談しますか」って。一応、聞いただけ聞いてみようということで行ったが、私としては最初のところでつまずいちゃったなと思ったことがあったが。</p> <p>なので、今言われたように集合時間を例えば15分、2グループにしてみようとか、2～3グループとかにさせていただくとか、それだけでもかなり待ち時間が……</p>
委員	<p>何かないかなと。</p>
委員	<p>健診自体の流れはとてもスムーズだと感じたが、最初のところが結構、何かけんかしちゃう子もいたりとかして、私も大変だったなという思いがあったので工夫していただけるとありがたいかなというふうに思う。</p>
会長	<p>その辺は実施する側の工夫で、ある程度軽減できないかと思う。ぜひ。</p>
委員	<p>時間をずらすということだろう。</p>
会長	<p>他にはいかがか。</p>
	<p>よろしいか。では、市のほうの報告も……</p>
委員	<p>1つだけ伺っていいか。休日保育のことを先ほどお話していただいたと思うが、すごく助かる、いい事業だと思う。これは在宅のお母さん、例えば「かるがも」で休日保育を今後取り入れるという予定はないのか聞きたい。例えば上の子の小学校とか中学校の学習発表会とか音楽会とか、下の子を連れていけない行事が休日に入った時、どこかに見てもらえるところがあるとうれしいなと感じていて、そういう予定が今後あるか伺いたい。</p>
会長	<p>これはいかがか。</p>
	<p>現行の休日保育は確か、市内のどこかの保育園に在園しているお子さんだけが対象になっているから、そこまで広げよう。</p> <p>他の市などでもその市の制度としてやっている一時保育とか一時預かりとか、学童であっても、年齢であっても、例えば1泊2日、親御さんがどうしても家を外さなきゃいけない時とか、そういった制度もまだ東大和では完璧になっていないが、他の区市町村でそんなところをやったりというのもあるので、それも含めて今後の検討課題にしていければと思うが、今の水上委員の質問に対し補足の説明を。</p>
事務局	<p>休日保育はどちらかの施設を通常利用している方が対象なので、そこまで広げるというの</p>

<p>会長</p>	<p>は次の検討課題にさせていただきたいと思う。</p> <p>一時預かりも、「かるがも」と保育園3つの施設、全部で4つやっているが、土曜日をやっているのは「かるがも」だけ。次に枠を広げる意味で、保育園のどこかで土曜日もやっていただいて、それが全部広がって行って、さらに日曜日という次のステップかなと思っている。</p> <p>課題がなかなか単年度で解消ができないが、学童の一時預かりが次の課題。だから今、学童については6年生まで。それでかつ、今年 200 人ぐらい学童保育所のほうに入れなかったお子さんがいるので、その方をランドセル来館ではなくてやれる方策、それも考えていかなきゃいけないところで、その受け入れ態勢等の整備がされてから次のオプション的なサービスをやっていけるのかなと考えている。</p> <p>ありがとう。</p> <p>市の施策としていろんな施策をしてくれて、本当にニーズがあるところに預かってもらえる、様々な機関とかできてきたのは大変結構だと思うが、親御さんの問題として、お家で親子でいる時間でお子さんが起きている時間はできるだけ積極的にコミュニケーションとるようにお願いしたいと思う。</p> <p>一番肝心なのは、コミュニケーションの中でも一番簡単で確実なのはカンパセーション、会話なので。親子でお互いに目を見合いながらの、あるいは目で追いながらでもいいが、声をかけて子どもの言うことを聞くような、その充実を図るようにしておかないと、お子さんの全人格的な発達とか、人格形成の礎になる部分で、ある種の欠落した部分が出てしまうから、こういう制度とか機関、利用するのであればあるほど、本当に短くなった親子が一緒にいる時間を有効に使っていただくとよろしいかなと。</p>
<p>委員</p>	<p>私もそれは思う。確かに土曜、休日を利用せざるを得ない人たちもいるからその充実もしてはいいけど、一番大事なのは、日本はもっと子どもと過ごす時間が増えるような施策がないと、早く勤務を終えて帰れる、学校行事、幼稚園行事、保育園の行事にお父さん、お母さんも参加をしてくれる人が増えてきた。仕事を休んでも来るといった人が増えてきた状況。そういうものを進めて、早く子どもの元に帰れるように、預ける時間が少しでも減るように、そういう施策も広げていただいて、ワークシェアリングで女性も働いてもいいし、子育てをしていることもとても大事なことで、両方大切なことだという社会になって子育てを頑張ろうという気持ちにみんなが、働いている人も子育てに専念したい人もやっていけるように進んでいけばいいと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>いろんな業種の方がいるから、どうしても常にやっていなくてはならないが、ある期間だけでも離れても、職場から離れても可能なだったら、子育てに専念して、その例えば2年間、3年間でその子にとってどれだけ大事かという。</p>
<p>委員</p>	<p>平等に扱われるように、その間休んでも正職として勤めたことと同じような扱いをしていただけると。うちの園でもそこを今取り組み中なので。</p>
<p>会長</p>	<p>復帰してきた人たちを、女性の労働力を正當に評価できる社会をつくっていくのがもう1つの大きい柱と思うが。何でもほころびたところを繕うようにやれやれでは、受け入れでこういうのばかりじゃなくて、もっと根本のところでも子育ての大切さをきちっと。</p>
<p>委員</p>	<p>3時まで帰ってもそれがちゃんとフルで働いた人と同じ扱いを受けられるようにするとか、一定期間は。</p>
<p>会長</p>	<p>それは当然我々もいろんな形で目指していかなければいけないと思う。両方だね。</p>
<p>委員</p>	<p>両方だと思ふ。</p>

会長	根本的なところでそういう価値観、社会観の醸成ともう1つは現実には、でも困っている人がいたらそれに対して具体的なサポートの支援は、策はきちっと提供するという2本立てでいかないとやはり。
委員	そうでないと保育士や幼稚園の先生が不足するのも解消しない、絶対に。
会長	現実問題で採用を予定していた保育士の方が、お子さんが保育園に、国分寺市で預けられなかったから就職できないという方がいたりするから、イタチごっこみたいなのところもあるが、もっと社会が子育てに寛容になってほしいなののは正直思う。
委員	働く人を増やすのもそうだし、預ける人を減らす努力もしないといけない訳だ。それでもちゃんと生活が成り立つ。
会長	2本柱は常に我々も市民一人一人がある程度観念を持っていないといけないかと思う。
事務局	今、保育士不足の中で、今度の4月は間に合わなかったが、次の5月以降の入園選考に当たって、お母さん、お父さんが保育士の場合は少しポイントを上げようと、国の指針で出ているので、それを今度改正をしようと考えている。
会長	いかがか。 とりあえずこの次第の(3)番、報告事項に関しては以上でよろしいか。 では、その他にいきたいと思うが何か委員の皆さんからのご提案とか。
委員	事務局宛で、すみません。答申の「尾崎保夫様」という形になっている。これ「殿」に直されたほうがいいのかと思ういかがか。
委員	肩書だけだと「殿」で、名前が入る場合は「様」と市のほうで統一しているの。
会長	だから固有名詞で入れないで「東大和市長殿」がよろしい。尾崎保夫市長のお名前を入れると「様」になってしまう。
委員	インフルエンザのところは大丈夫か。高齢者 65 歳、我々も 2,500 円をお支払いしているので無料ではないのだが、同じように訂正をお願いしたほうがいいのかと思う。
会長	ほかにはいかがか。もう大丈夫か。
	12. その他
会長	では、その他に移りたいと思うが「今後の予定について」ということが挙げられているが、ほかに何か皆さんのほうからあれば。
事務局	では、今後の予定として冒頭のほうで説明させていただいたが、今回、議題の2番目で答申について、結構ご意見、修正するところが出てきたので、もう一度手直し等をして、それでまた次回の会議の時にご提示させていただいて、そこで取りまとめて答申したい。 なので、今回は新年度に入ってからになるが、6月議会終わった後ぐらいで、皆様の任期が7月末までなので、7月中なのかなという状況になる。
会長	この件に関して何か皆さんのほうからご質問とかご意見とかあるか。
	11. 閉会
会長	では、これをもって 27 年度第3回の子ども・子育て支援会議を終了させていただきたいと思う。 お疲れさま。